

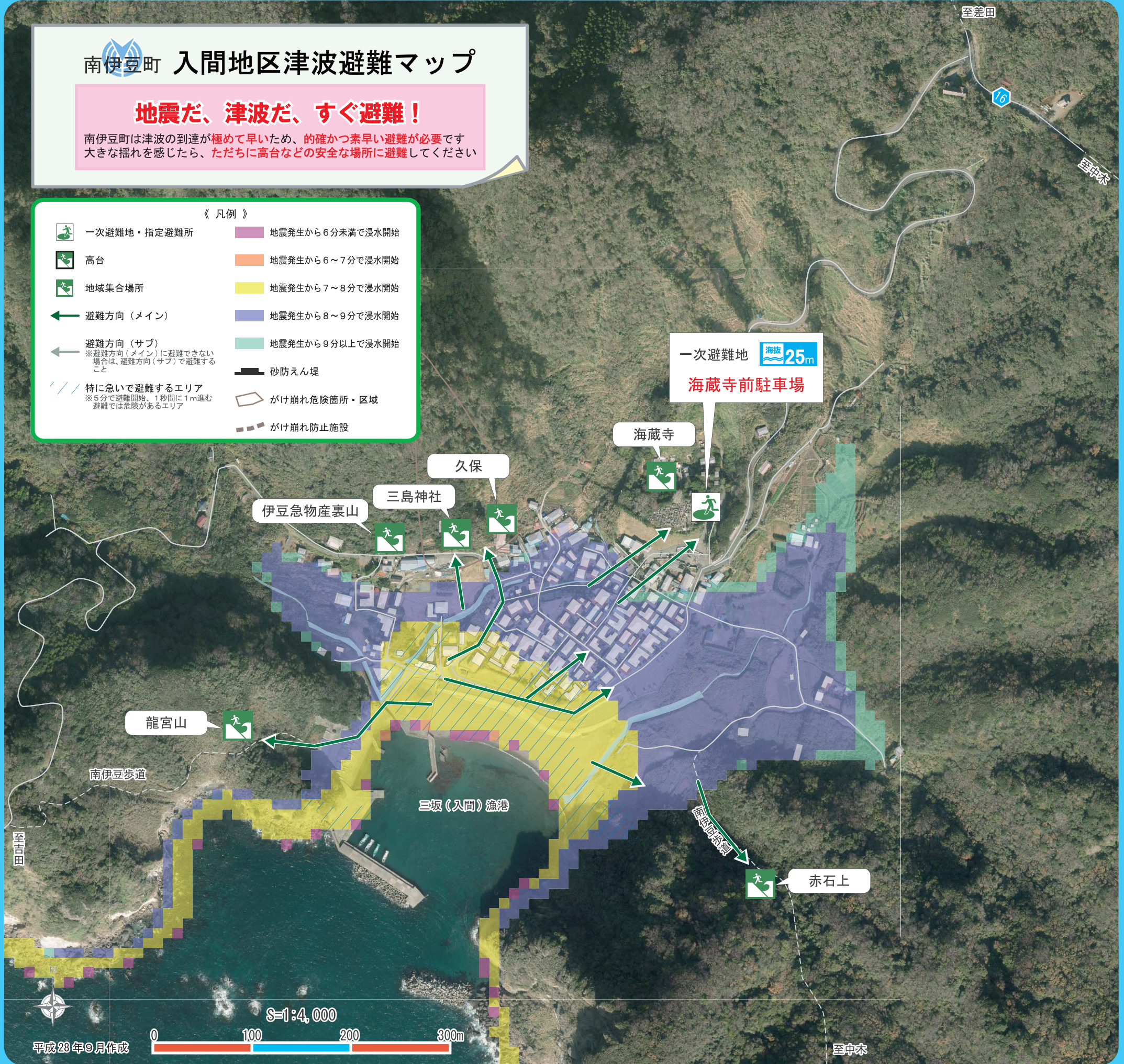
南伊豆町 入間地区津波避難マップ

地震だ、津波だ、すぐ避難！

南伊豆町は津波の到達が極めて早いので、的確かつ素早い避難が必要です。大きな揺れを感じたら、ただちに高台などの安全な場所に避難してください。

《 凡例 》

- | | |
|--|-----------------|
| 一次避難地・指定避難所 | 地震発生から6分未満で浸水開始 |
| 高台 | 地震発生から6～7分で浸水開始 |
| 地域集合場所 | 地震発生から7～8分で浸水開始 |
| 避難方向（メイン） | 地震発生から8～9分で浸水開始 |
| 避難方向（サブ）
※避難方向（メイン）に避難できない場合は、避難方向（サブ）で避難すること | 地震発生から9分以上で浸水開始 |
| 特に急いで避難するエリア
※5分で避難開始、1秒間に1m進む避難では危険があるエリア | 砂防えん堤 |
| | かけ崩れ危険箇所・区域 |
| | かけ崩れ防止施設 |



津波避難の心得

- まず、我が身の安全を真っ先に考えること**
・自分がけがをしては、避難もままなりません。
- 素早く避難を開始すること（地震発生から3分で避難開始）**
・南伊豆町は最短約6分で津波が到達します。揺れが残っていても、できる限り急いで避難しましょう。
- あらかじめ避難先を把握しておくこと**
・災害はいつ起こるかわかりません。避難する場所を普段から確認しておきましょう。
- 素早い避難をすること（1秒で1m進む避難をしましょう）**
・津波はとても早いので、のんびり歩いては間に合いません。
- 避難を妨げる問題がどこにあるか把握しておくこと**
・円滑な避難のために、予め地域のどこに避難を妨げる問題があるか把握しておくことが重要です。
- 避難を妨げる問題に対して対策を講じ、解消すること**
・地震で家具が転倒すると、ケガをするばかりか、迅速な避難ができなくなります。安全に避難するためには、家庭や地域で出来る地震対策（家具の固定・通路の整理・耐震化）が重要となります。

その他留意事項

- 徒歩により避難すること（車による避難は原則禁止）**
・ちょっとした原因で車は通行できなくなり、津波に巻き込まれる危険性が高くなります。
- 財産（家財や持ち船等）の保全や持ち出しはあきらめること**
・過去の津波災害では、貴重品を取りに戻って津波に巻き込まれた人、船が心配になり様子を見に行くと津波に巻き込まれた人など、数分の差で命を落とすケースもあります。
- 堅い物（岩場や堤防等）からできるだけ離れること**
・津波に飲み込まれた場合、死因の多くは、岩やコンクリートなどの堅い物にたたきつけられて気絶したり、負傷して水死するケースが多いです。

まず確認！

- あなたのお住まいはどちらですか？
- あなたのお住まいに何分で津波がきますか？
(例) 5分
- 最寄りの津波避難場所はどこですか？
(例) 海蔵寺

一次避難地：海蔵寺前駐車場
指定避難所：三坂地区防災センター
救護所：南伊豆中学校

土砂災害 110 番
南伊豆町役場地域整備課 0558-62-6277
地域防災に関するお問い合わせ先
南伊豆町役場総務課 0558-62-6211
静岡県賀茂振興局 0558-24-2004
入間生活改善センター 0558-65-0702
入間消防詰所 0558-65-1137



静岡県土木総合防災情報
サイボスレーダー (SIPOS-RADAR)
県内の最新の防災情報を発信するインターネットサイト。リアルタイムの河川の水位・雨量・気象情報、洪水予報・土砂災害警戒などの防災情報を発信しています。
携帯電話からの利用は右上のQRコードをご利用ください

災害用伝言ダイヤル 1711 にダイヤル

1711 → 音声案内に従い

1で録音 → 自宅の電話番号 → 市街局番からダイヤル

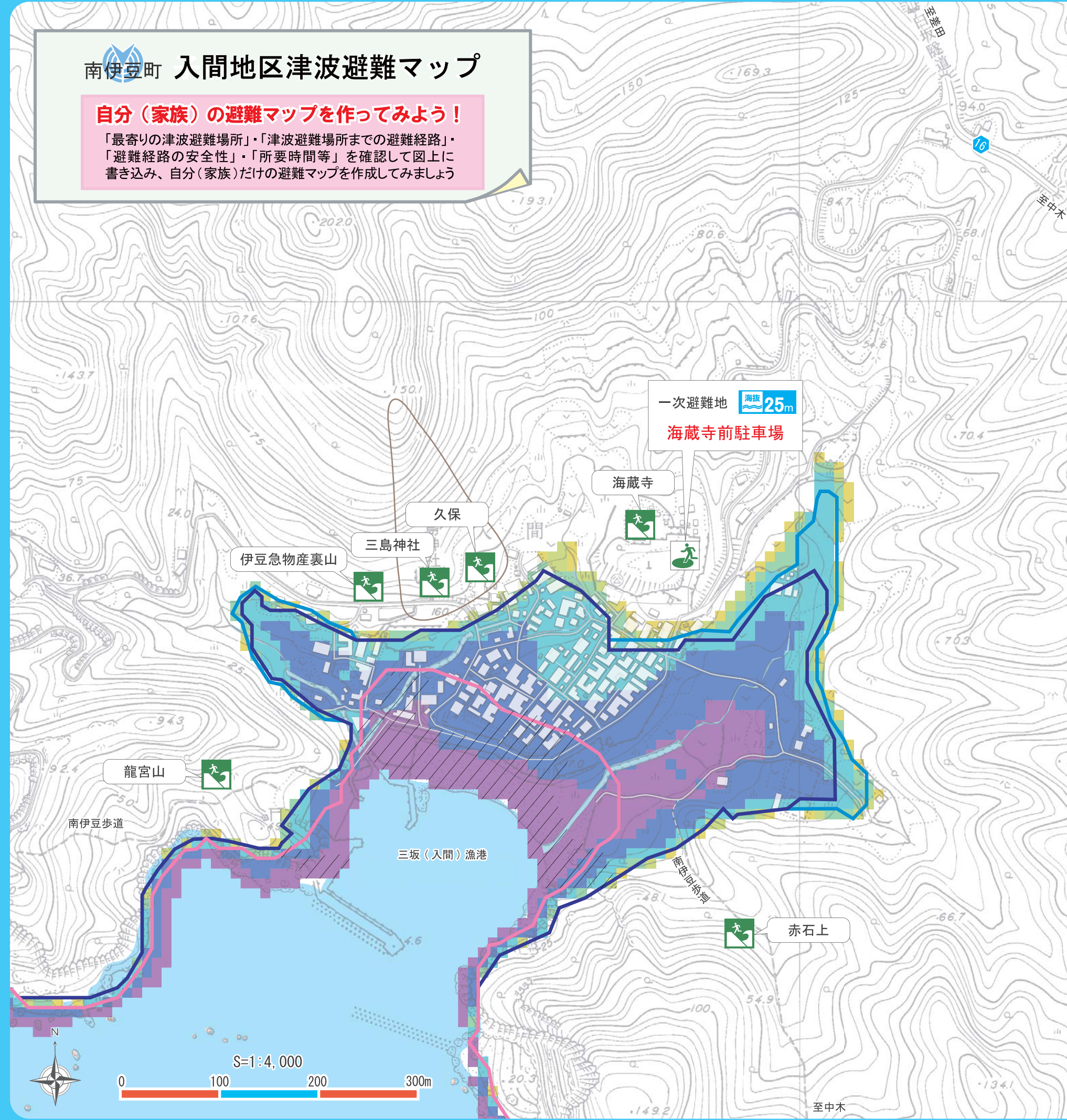
2で再生 → 被災地の方の電話番号 → 市街局番からダイヤル

私は〇〇です。〇〇〇に避難しています。

南伊豆町 入間地区津波避難マップ

自分（家族）の避難マップを作ってみよう！

「最寄りの津波避難場所」・「津波避難場所までの避難経路」・
「避難経路の安全性」・「所要時間等」を確認して図上に
書き込み、自分（家族）だけの避難マップを作成してみよう

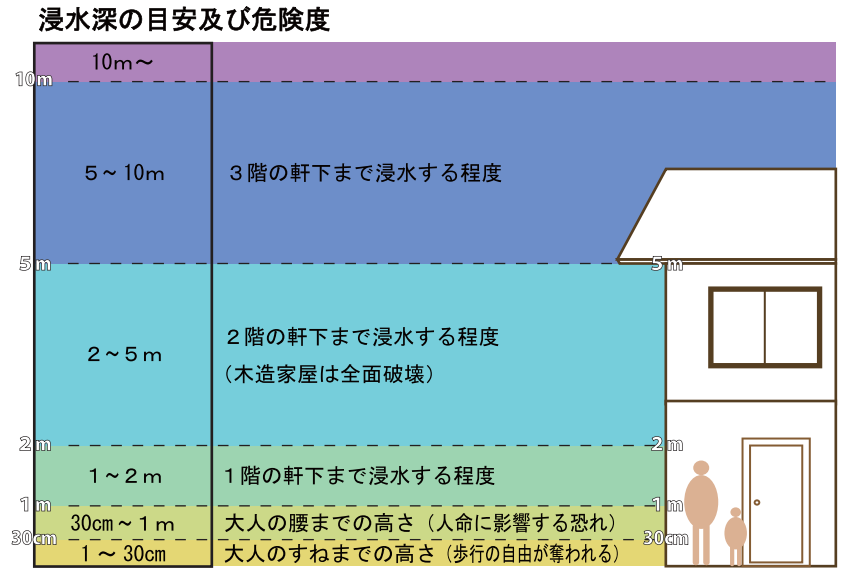


《 凡例 》

- 地震発生から約7分で浸水開始
- 地震発生から約8分で浸水開始
- 地震発生から約9分で浸水開始
- 地震発生から約10分で浸水開始
- 一次避難地・指定避難所
- 高台
- 地域集合場所
- 特に急いで避難するエリア
※5分で避難開始し、1秒間に1m進む
避難では危険があるエリア
- 砂防えん堤
- がけ崩れ危険箇所・区域
- がけ崩れ防止施設

■ 津波避難マップの使い方①【浸水深の目安及び危険度】

浸水深の目安及び危険度は下図に示すとおりです。あなたのお住まいや職場がどの程度浸水し、どのような危険があるのか確認して下さい。



■ 津波避難マップの使い方②【避難経路を確認しよう】

あなたのお住まいはどこですか？

最寄りの津波避難場所はどこですか？
(例) 海蔵寺

最寄りの津波避難場所までの避難経路を確認しましょう

避難経路を選ぶポイント

- ・徒歩で避難することを前提に、避難経路を選びましょう
- ・浸水浸水するエリアから、迅速に避難できる経路を選びましょう
- ・津波は河川をさかのぼってきます。河川を渡る、近くを通ることはなるべく避けましょう

避難経路を実際に歩き、津波避難場所までの所要時間と、津波避難場所周辺の津波到達時間を確認しましょう ※「津波到達時間－避難開始時間(3分)－所要時間」がマイナスになる場合は、さらに急いで避難するか、避難経路の再検討が必要です

【津波到達時間】 分 - 【避難開始時間】 3 分 - 【所要時間】 分 = ※ 分

【気付いたこと】

避難経路を歩く時に確認すること

- ・避難を妨げるような問題（河川・がけ崩れ）がないか確認しましょう
- ・問題がある場合には避難経路の再検討や迂回路も併せて検討しておきましょう
- ・また津波避難場所にたどり着く前に浸水が始まってしまった場合のために、近くにある避難先となりそうな高台や建物（鉄筋コンクリート造で3階以上）も確認しましょう

あなたのお住まい以外で、日頃よく訪れる場所（通勤通学先やスーパー等）からの避難経路も同じように考えてみましょう